

1 学校経営管理全体計画（構想）

地域の実態

- ・伝統と歴史に育まれてきた地域であり、教育熱心な地域である。
- ・地域住民は人情豊かであり、学校への信頼や期待も強く、協力的、厚意的である。
- ・従来の農村地域から徐々に変貌しつつあり、生活様式や価値観も多様化している。
- ・地域住民の考え方が多様化し、地域としてのまとまりが難しくなりつつある。
- ・昨年度から児童数が微増したが、今後減少傾向である。

子どもの実態

- ・素朴でやさしく、人なつこい。
- ・規範意識があり、落ち着いて話を聞こうとする。
- ・明るく活発に行動するが、やや自主性や積極性、主体性に欠けるところがある。
- ・言われたことや、与えられたことは、しっかりできるが、粘り強さや向上心に欠けるところがある。
- ・様々な原因により心の成長に課題がある子どもや、特別な支援の必要な子どもが増えている。
- ・基礎学力の定着に課題のある子どもが少なくない。

保護者・教師の願い

- ・確かな学力、豊かな心、健やかな体を育ててほしい。
- ・自分の考えをしっかりと持ち、正しい目標実現のため、困難に耐え抜く気力あふれた子どもになってほしい。
- ・豊かな心を持ち、互いに温かい気持ちで支え合える子どもになってほしい。
- ・命を大切にし、健康・安全で規律正しい生活のできる子どもになってほしい。

教育推進の原点

日本国憲法・教育基本法
の精神
県・町の教育方針
～キラリと光る教育で竜王の人づくり
・まちづくり～

学校教育目標

かんがえよう

たすけあおう

やってみよう

豊かな生活体験を通して、創造・友愛・自主を育み、たくましく生きぬく力の形成をめざす

▼創造・知・確かな学力▼

面白いこと、不思議なことを見つけ
合い、発想を自由に広げよう。

▼友愛・徳・豊かな心▼

互いに相手を認め合う心をもって、
仲間や社会に役立つ活動をしよう。

▼自主・体・健やかな体▼

自分がしたいこと、しなければなら
ないことを進んで実行しよう。

合言葉は「かんがえよう、たすけあおう、やってみよう」

めざす子ども像

- ・毎日元気に学校へ登校し、友だちと楽しく遊べる子ども
- ・自分の夢や目標に向かって努力する子ども
- ・命や人権、友だちを大切にできる子ども
- ・元気なあいさつと優しい言葉かけができる子ども
- ・やればできる自分を信じ、伸びる自分を感じられる子ども

めざす学校像

認め合い助け合う中で、夢や希望・願いに向かって、精一杯頑張り、共に高まり合う学校

- ・安全、安心な学校（「安全第一」が合言葉の学校）
- ・全ての子どもにとって居心地のよい学校
- ・教職員の創意と英知に満ちた、魅力ある学校
- ・地域に開かれ、地域に根ざし、地域のセンターとしての学校・「おらがまちの学校」
- ・きびしさとぬくもりがあり、子どもが輝き、子どもも先生も喜び勇んで来る学校

めざす教職員像

- ・いじめ、体罰を絶対許さない教師集団
- ・危機管理、不祥事防止に努める教師集団
- ・どの子にも笑顔で明るく接し、元気な挨拶と優しい話しかけのできる教師
- ・子どもや保護者の思いを心から受け入れ、解決に向けて共に考えられる教師
- ・謙虚な姿勢で、常に自分自身を見つめ努力する教師
- ・常に切磋琢磨し、資質の向上に努める教師

県下「初」(挑戦)、
 県下「ナンバー1」(向上)、
 県下「オンリー1」(創造)

教育実践の重点

竜王チャレンジタイム
 を核とした教育実践

合言葉は「かんがえよう、たすけあおう、やってみよう」

かんがえよう 確かな学力を育む 知

- ・基礎・基本の徹底を図る教育の推進と、思考力・判断力・表現力の育成(個別指導、少人数指導の充実)
- ・「竜チャレ」による学習規律・規範の確立と自分の考えを持ち、生き生きと表現しあう子ども育成をめざす校内研究の推進
- ・英語教育(英語科)、外国語活動に関する取組の一層の充実
- ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- ・朝読書を核とした読書活動の推進
- ・児童の発表にパワーポイントを使うなど、プログラミング教育の推進
- ・スタートカリキュラムの実施

たすけあおう 豊かな心を育む 徳

- ・「学校が楽しい」と感じ、自主的、実践的な態度の育成をめざす学級づくりを行い、教師と子どもとの信頼関係を築く。
- ・すべての子どもにとって居心地のよい学級づくりの推進と不登校の解決のため将来の社会的自立を目指した教育相談体制の充実
- ・いじめアンケートを活用し子ども同士の信頼関係を築く
- ・廊下歩行や、部屋への入り方など、決まり、約束の徹底
- ・特別の教科道徳の授業実践と教育活動全体を通じての道徳教育の推進
- ・「相手の気持ちを考えられる優しさ」を育む人権同和教育の推進
- ・違いを認め尊重し合う関係づくりをめざす特別支援理解推進教育の充実

やってみよう 健やかな体を育む 体

- ・ドラゴンハットでの創意工夫された運動会の実施
- ・異年齢集団による仲間同士の連帯感と自尊感情を高めるたてわり活動の充実
- ・立腰教育の推進
- ・体力テストによる日常的な体力向上の取組の充実と体育科授業の改善
- ・外遊び、群れ遊び、児童主催の大会等を通じての体力づくりの奨励
- ・給食指導の充実と生きる力を育む食育の積極的推進
- ・基本的な生活習慣の確立と「早寝、早起き、朝ごはん」の徹底
- ・登下校の安全管理の徹底

地域に開かれ、地域と連携した信頼される安全・安心な学校づくり

- ・英語やプログラミングなどは参観日に公開して保護者にアピールするなど、学校の教育活動の様子や現状を保護者、地域に積極的、タイムリーに発信する。
- ・学校改築、地域に根ざした学校を話題に地域コミュニティを深めるコミュニティ・スクール学校運営協議会の継続
- ・学校応援団、学校ボランティア、ゲストティーチャー、大学生ボランティア、出前授業の計画的、継続的な有効活用
- ・PTA、地域(スクールガード等)、行政、関係機関等との連携による、安心、安全な登下校の徹底
- ・学校評価やアンケートを有効に活用したPDCAサイクルによる教育実践の充実

【教育指導に係る具体的努力事項】

学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・竜王チャレンジタイム…生きて働く基礎学力定着事業を継続し学習規律・規範(竜小メソッド・立腰)の徹底と公開授業を行う。 ・学びを実感できる課題設定から授業プランシートや授業ナビシートを生かした読み解く力の育成 ・支援員を生かした一人ひとりの課題に応じた指導と学びの充実 ・算教科の少人数学習による学びに応じた指導の徹底 ・家庭学習がんばり週間の実施し「竜チャレ」に合った宿題を出す ・朝読書で図書室を活用し、ブックトークを増やす。 	体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上と進んで運動する子を増やす運動の工夫と積極的な取組 ・一人ひとりの体力および課題の把握(体力テスト、日常観察の有効活用)と課題克服のための取組の充実 ・学習指導要領を踏まえた体育科授業の工夫と充実 ・年間を通じた運動、体力づくりの取組の継続 ・運動委員会主催の各種スポーツ大会の積極的開催
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の充実をめざす指導内容の工夫、教材教具の開発と保存 ・保護者や学校関係者等を対象とした道徳授業の公開 ・道徳教育研修会、道徳授業研究会への参加促進と校内研修会等の積極的開催 	人権同和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とのコミュニケーション能力を高め、教職員の言葉遣いや「～さん」と児童を呼ぶ温かい見守りと適切な支援ができるように研修を深める。 ・いじめ、差別、偏見を絶対に許さない人権同和教育の推進 ・毎月11日「人権を確かめ合う日」の取組を生かした学級経営を行い、内容を保護者へ発信していく。 ・全校で取り組む人権週間と人権集会の開催
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除の仕方を統一し、全教職員あがっての清掃指導を行っていく。 ・学校ビオトープの一層の有効活用と維持管理 ・持続可能な社会の実現に向けて、豊かな自然や母なる琵琶湖、身近な地域を視野に入れ、主体的に行動できる環境教育の推進 ・環境美化の日における活動の充実 	外国語理解教育	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動の実施と高学年における英語教育の充実 ・専科教員と学級担任による専門的できめ細かな授業の展開と小中学校間の連携 ・GTECを活用した今後の英語教育活動計画の作成 ・「文字指導」の導入や「読む力」をつける取組 ・英語による校内放送、廊下掲示等による慣れ親しむ機会の充実
体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ともやま自然教室、たんぼのこ・うみのこ・やまのこなどの体験学習の推進 ・カリキュラムの接続による保幼小連携教育の充実 ・たてわり活動、竜小まつりの創意工夫と充実 ・総合的な学習、生活科等における体験活動の充実 	防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校防災委員会の設置と学校防災マニュアルの見直しと点検 ・「自ら命を守る教育」としての避難訓練の充実 ・児童自らが危機意識を持って臨む防災学習の工夫 ・緊急時に備えた「児童引き渡し訓練」の継続実施 ・教職員の危機管理意識の高揚と実技研修の実施
不登校指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に入れない傾向の児童が増加傾向にあるため、指導体制の充実により、県町SSW、外部関係機関や保護者との連携により、チームとして対応していく。 ・いじめなどの生徒指導事案に対して、早期対応、組織対応により対応していく。アンケートも細かく見取っていく。 	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な身体づくりと感謝の心を育てる給食指導 ・全校による給食週間の取組の充実 ・町健康推進課、健康推進協議会等と連携した食育体験学習の充実 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の継続的な啓発と点検 ・朝食摂取率100%に向けた啓発の充実
教体育別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな実態把握による個別指導計画の作成と実践 ・通級指導教室と特別支援教育の充実 ・通常学級における特別支援教育の推進 ・関係機関、関係会議との連携強化(ふれあい相談発達支援センター、町就学支援委員会、町特別支援推進協議会等) 		